

## 新潟県立看護大学 創立20周年記念講演

### お茶の水女子大学名誉教授 波平恵美子先生をお招きして

本学は、2022年10月15日（土）に創立20周年記念式典・記念講演会を開催いたしました。式典には来賓や大学関係者ら約130人のご参加をいただきました。式典後の講演会には、お茶の水女子大学名誉教授 波平恵美子先生をお迎えし、「看護の本質－変わるものと変わらないもの－」と題してご講演いただきました。

波平先生は文化人類学、医療人類学、宗教人類学、ジェンダー論を専門に研究を進められ、日本民俗学における「ハレ・ケ・ケガレ」という三項対置の概念の提唱者として知られています。主な著書は「病気と治療の文化人類学」（海鳴社、1984）、「いのちの文化人類学」（新潮社、1996）、「医療人類学入門」（朝日新聞社、2004）、「ケガレ」（講談社学術文庫、2009）、「『コロナ』と『看護』と『触れること』」（日本看護協会出版会、2021）など多数あります。

また、波平先生は長年に渡り看護系大学の学部や大学院で、「医療人類学」や「文化人類学」、「質的研究」のご講義を担当されており、看護教育にも深いご縁をお持ちです。

今回の講演では、新型コロナウイルス感染症の拡大を経験して、従来大切にしてきた患者に寄り添い、触れる看護ケアが制限される状況を経験した今だからこそ、看護の本質を見直す必要があると話されました。そして、理想と現実の中で生じた「看護の本質」の認識のずれを客観的に把握し、充実し、満足の中で看護を実践してほしいと励ましのメッセージをいただきました。

このご講演の内容を、現在看護職者としてご活躍されている方をはじめ、看護職を目指す看護学生など多くの方々にお読みいただければ幸いです。

創立20周年記念事業 実行委員会  
実行委員長 大久保明子